

- このたびは東芝電球ブラケットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの東芝電球ブラケットを正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客様はお読みになったあと必ず保存してください。

お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法で禁じられております。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事店様へ

施工上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると落下、感電、火災等の原因となります。
- この器具は壁面の丈夫なところに取り付けてください。薄い壁面、弱い壁面等に取り付けますと、ねじ止めが弱く落下の原因となります。

! 取り付け



- 必ずアースを取り付けてください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。(アースは法により第3種接地工事が必要です。)

アース工事



⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 交流100V(±6V)以外の電圧で使用しないでください。間違えて器具に過電圧を印加した場合、ランプ、器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。

⊘ 電源電圧

- 暖房器具、ガス器具等の真上付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。(この器具は、5～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。)



温度

- 器具を取り付ける際、壁紙、クロス貼りなどの接着剤等が十分乾燥してから器具を取り付けてください。メッキや塗装などの変色やサビの原因となります。

⊘

●お客様へ

使用上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。

⊘ 改造

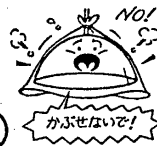


- ランプに水滴をかけたり、器具のすきまなどに針金などを差し込まないでください。ランプの破裂によるけがや感電、火災等の原因となります。

⊘

- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。火災等の原因となります。

⊘ 可燃物



⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。

⊘ ランプ高温



- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

! 電源を切って



- ランプ交換の際は、必ず本体表示によるランプの種類、ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類、ワット(W)数のランプのご使用の場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。

!



■お手入れのしかた

常に明るく使っていただくために6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。
器具のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。

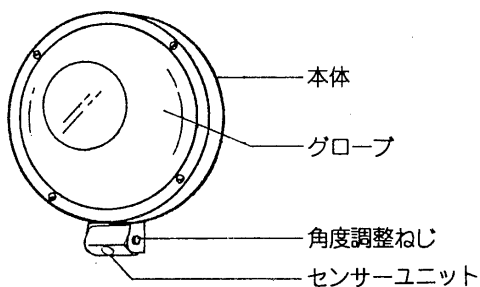
- グローブはぬるま湯または中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。このとき、ぬれた手でソケット部分に触れないでください。
- ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。
- この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。

【ご注意】

- 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
 - 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。
- ⚠ 警告** ●器具、ランプは水洗いしないでください。故障、感電の原因となります。

■各部のなまえ

防雨形
照度センサー
人感センサー



●この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

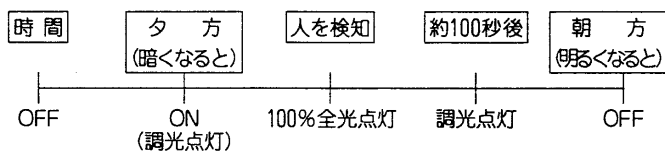
■センサーについて

■夕方暗くなると、通常の約15～25%の調光状態で、自動的に点灯します。

■検知エリア内に人がはいますと、100%全光点灯となります。

- 検知エリア内で人が動いている間は、100%全光連続点灯します。
- 検知エリアから人が離れたり、静止しますと約100秒後に約15～25%の調光点灯に戻ります。

■朝方明るくなると、自動的に消灯します。



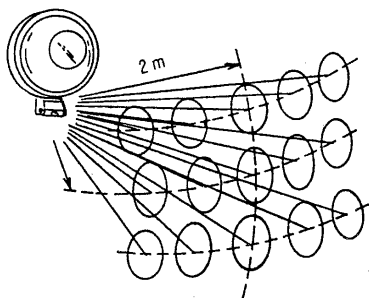
(ご注意) 1. 調光の割合は、電源周波数により異なります。

2. 暗いときに電源を投入いたしますと、100%全光状態で約100秒点灯後、通常の動作に入ります。異常ではありません。

3. ランプは必ず指定のワット数をご使用ください。指定以外のワット数のランプを使用した場合、ランプがチラついたりすることがあります。

■検知エリア (センサーが検知する範囲)

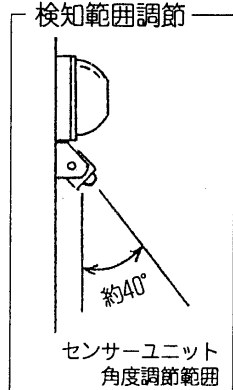
■センサーユニット部の角度を変えることにより、人感センサーの検知エリアを図の様に変わることができます。
(検知エリアの調整方法は「器具の取り付けかた」の項を参照ください。)



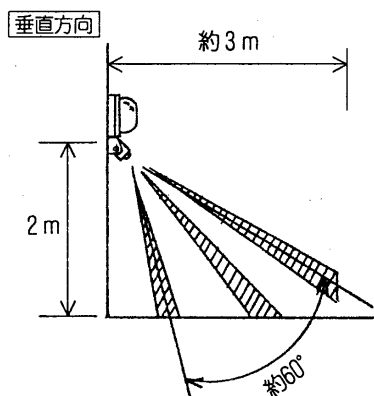
人感スイッチの検知エリア

- 球面分割レンズを採用したマルチ検知で約2mの位置の1ゾーンの検知エリアは直径約30～41cmです。

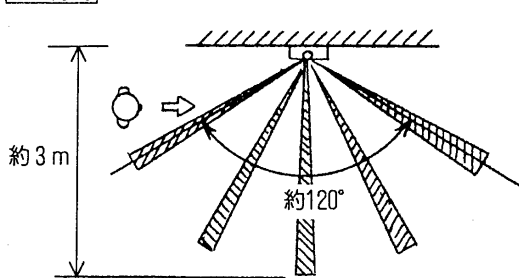
検知範囲調節



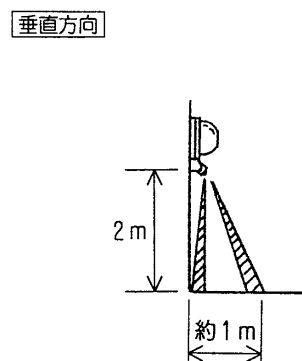
センサーユニット角度が40°の場合



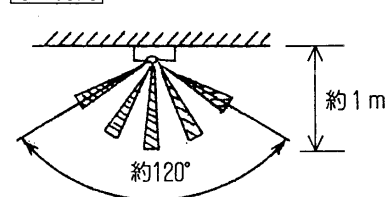
水平方向



センサーユニット角度が0°の場合



水平方向



(ご注意) 検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。

(特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。)

■ 器具を取り付ける前に

■ 器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

1. 検知エリアを考慮して設置してください。

- 高さ2 m以内に設置してください。
- センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。
- センサー正面に向かって人が近づく様な位置に設置しますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと、検知しない場合があります。
- 器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁から1.5 m以上離して取り付けるか、もしくはユニットの方向を調整してください。

2. 検知エリア内に障害物がある場所への設置はお避けください。センサーが働かないことがあります。

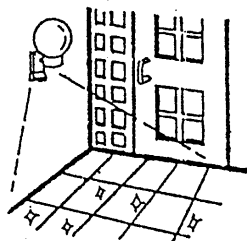
3. 車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。誤動作の原因となります。

4. 暖房器具の付近や、蒸気などが当たる温度変化の多い場所への取り付けはお避けください。誤動作の原因となります。

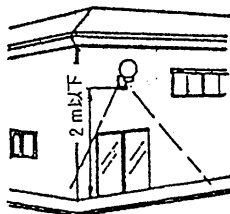
■ そのほか、以下のような場所への取り付けはお避けください。

■ 次のような場所には取り付けないでください。(検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。)

① 大理石など反射の強い床面のあ
る場所。



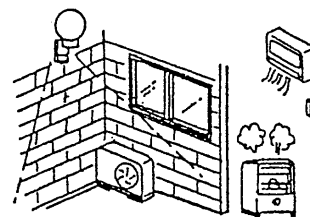
② 取付高さが2 m以上になる場所。



③ 風などでよくゆれるのれんや植
物などが器具のそばにある場所。



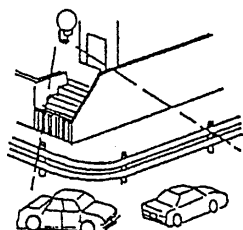
④ エアコンの吹き出し口の近く。
吹き出し口に対向する場所。



⑤ 前面に障害物のある場所。
(透明なガラスでも遮断されま
す。)



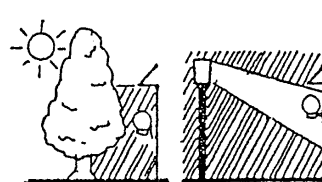
⑥ 検知エリア内に交通量の多い道
路がある場所。



⑦ 振動の激しいポールなど、不安
定な場所。



⑧ 昼間でも暗い場所や、夜間でも
明るい場所。

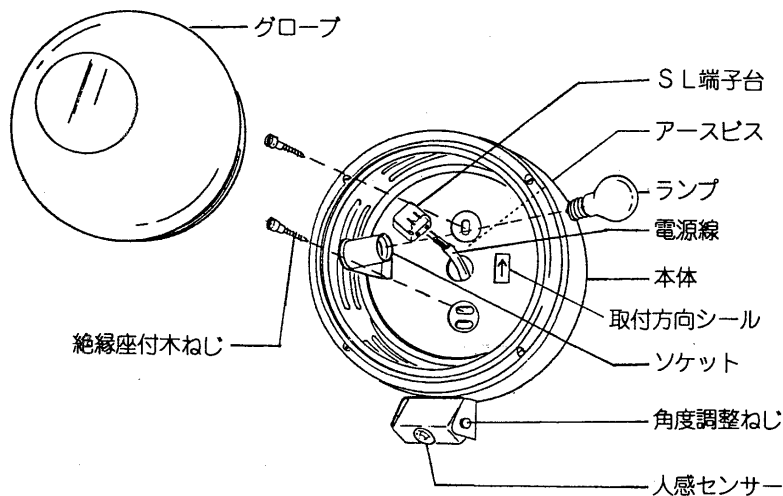


■ 故障かな? と思ったときは

現 象	原 因	処 置
● 点灯しない	● 電源が入っていない。 ● 周囲が明るい。 ● 人が近づいたときの温度変化が小さい。 ● 検知エリアの角度調整が合っていない。 ● 電球が切れている。	● 電源を入れる。 ● 暗くなるまで待つ。 ● 近くの照明を消す。 ● 器具にもう少し近づく。 ● 大きく動く。もう少し速く動いて確認する。 ● センサー角度を前方に向ける。 ● 電球を交換する。
● 勝手に100% 点灯する。	● 器具近くに風で動いたり、温度が変化する ものが置かれている。 ● 電源を投入した場合。	● 誤動作源を取り除く。 ● センサー角度を下方に向ける。 ● 昼間の場合、約90秒後に消灯するので確認 する。 ● 夜間の場合、約90秒後に調光点灯となるの で確認する。

● 上記以外に原因がある場合は電気工事店にご相談ください。

■ 器具の取り付けかた



1. アース線を本体裏面のアースビスに取付けます。
2. 電源線を本体電源穴から引き込み取付方向シールの方向に付属の絶縁座付木ねじで本体を取付けます。

天井取付不可、床置取付不可

3. 電源線を結線してください。
SL端子台のストリップゲージに合せて電源線の被覆をむき、電源線差し込み穴に強く差し込んでください。(図-1)

△警告

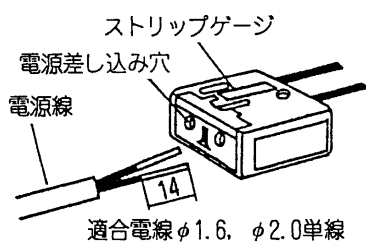
電源線結線の際、電源線をねじったりまわしたりしないでください。破損、感電、火災の原因となります。

4. ランプをソケットにねじ込んでください。
5. グローブを本体にねじ込んでください。

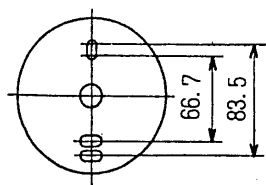
△警告

グローブが確実に取り付けいたか確認してください。取り付けが不十分ですと落下の原因となります。

図-1 SL端子台

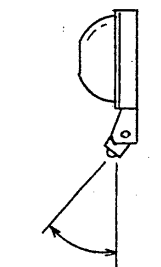
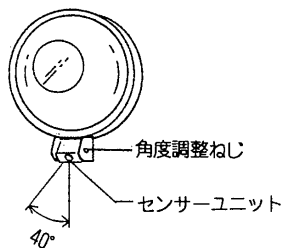


本体取付ピッチ



検知エリアの調整方法

- 角度調整ねじをゆるめ、センサーユニットを適正な位置に動かして角度調整ねじで固定します。
- 「検知エリア」の項を参考に充分ご検討の上、調整方向をお決めください。
- センサーユニットは垂直から上方向に40°の角度範囲で調整が可能です。



ご注意

- 40°以上は調整できません。調整範囲以上無理に動かさないでください。
- 検知方向を誤りますと、不必要な人や自転車を検知する場合があります。充分注意して設定してください。

■ 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあめの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社 照明電材事業部 〒140 東京都品川区南品川2-2-13南品川JNビル TEL 03(5463)8766

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。